

第三十六回 帝國議會
衆議院

無盡業法案外一件（貯蓄銀行條例中改正法律案）委員會議錄（速記）第二回

會議

大正四年六月二日午前十時三十七分開議

出席委員左ノ如シ

本田

恒之君

戸井

嘉作君

尾越

辰雄君

松浦

五兵衛君

戸叶

薰雄君

川崎

克君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 濱口 雄幸君

大藏書記官 森 俊六郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

貯蓄銀行條例中改正法律案
營業稅法中改正法律案

○委員長（本田恒之君） ソレデハ是ヨリ開會致シマス——モウ御質問ハアリマセヌカ

○板倉中君 第二十二條ノ決裁ニ付キマシテ「事業方法」の變更又ハ事業ノ停止ヲ命シ其他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得無盡事業者カ法令定款又ハ主務大臣ノ命令ニ違反シ其他公益ヲ害スヘキ行爲ヲナシタルトキハ主務大臣ハ事業ノ停止若クハ役員ノ改任ヲ命ジ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得「頗ル權利上重大ナル認定ノ權利ヲ主務大臣ニ與ヘルコトニナルノデアリマスガ、主務大臣ガ一々其事情ヲ自ラ取調ベテナスト云フモノ」

實際上無イノデアッテ、ソレノ其掛リノ役人が見テ、斯クアラウト考ヘタモノヲ申達シテ之ニ決裁ヲ與ヘラレルノが實際ノ狀態デアル、或ハ營業ヲ停止セラレ、又ハ種々ナル營業ノ方法ノ變更ヲ命ゼラレルト云フヤウナコトハ、重大ナル當業者ニ對スル權利ニ關係ヲ來スノデアリマス、ソレ等ノコトハ間違ナキヲ保スルコトハ出來ナイノテアル、官ト民トノ見込ト云フモノニ付テハ、常ニ一時ノ間違ナルコトハ是迄モ往々例ノアルコトデアリマス、此場合ニ於テ當業者が其處分ヲ失當ナリトシタ時分ニハ、如何ニシテ之ヲ救濟スルノ途ヲ達セシムル積リデアリマスカ、政府ノ所見ヲ伺シテ置キタイト思ヒマス

○政府委員（森俊六郎君） 此監督ニ關シマスル規定ハ、大體ニ於キマシテ今日行ハレテ居リマス擔保付社債信託法デアリマストカ、或ハ保險業法デアリマストカ、取引所法デアリマストカ、其外產業組合ナドモ同ジャウナ規定ヲ設ケテアリマスノデ、近頃新シイ法制ノ監督ニ關スル規定ト權衡ヲ得テ居リマス積リデアリマス、特ニ無盡業ニ對シテ重イ監督、重大ナル監督ヲスルコトニナシテ居ルト云フノデアリマセヌ、其處分ニ對シテノ如シテ、此規定ニ依テ御遣リニナルコト、思ヒマスが、是ハ帳簿ノ上ノ不正支出ト救濟ニ付キマシテハ、一般ノ原則ニ依リマシテ、訴願デアルトカ、或ハ行政裁判所ニ出訴致ストカノ救濟ヲ受ケマス外ニハ、別ニ救濟ノ途ハ付イテ居リマセヌ、ソレハ一般ノ原

則ニ依ルコト、考ヘルノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマスシテ、サウシテ有價證券ノ給付ヲ受ケル目的トスル仕事ニ付テハ、此第一條ノ範圍ニ入ルノデアリマスカ、範圍ニ入ラナイノデアリマスカ、若シ入ラナイモノトスレバ、ソレ等ノモノニ付テハ如何ナル取締ヲサレル方針ニアリマスカ

○政府委員（森俊六郎君） 唯今ノ御尋ハ無盡業法ノ第一條ニハ包含致サナイト考ヘルノデアリマス、但シ唯今ノ有價證券ノ給付ヲ目的ト致シマス取引デアリマシテモ、單純ナル賣買デアリマスレバ是ハ已ムヲ得ナイ、外ニワレヲ取締ベキ規定ハナイヤウデアリマス、賣買ニアラズシテ賣買ノ形式ヲ裝アトコロノ預金業アルトカ、唯預金ヲ集メルモノデ賣買ナインテアルト云フ實蹟ガ舉リマシタナラバ、ソレハ貯蓄銀行條例ニ觸レルコトニ或ハナリハセヌカト思ヒマス、月掛ノ方法ニ依テ有價證券ヲ賣買スルモノト申シマシテモ、實際ハ現金ヲ交付スルモノデアルトカ、又ハ公債ヲ半分入レテ後トノ差額ダケハ現金デ渡ス、例ヘハ公債ノ時價ノ下ツタ分、差額ヲ現金デ渡スト云フコトハ是ハ事實問題トシテ多少ノ疑が残ラウト思フ、單純ナル公債ノ賣買ト云フコトが言ヘルナラバ、貯蓄銀行條例ニ觸レル範圍デナイト思ヒマスガ、サウ云フ形ニ於テ實ハ貯蓄銀行ヲヤルコトニナア、云フモノハドノ範圍ニ入りマスカ

○川崎克君 サウ云フノハ貯蓄銀行條例ニ觸レルトスルト、ドウ云フ風ナ取締ニアリマスカ、此法令ノ出來ルマテニ、現在ニ於テ具體的ニ言ヘハ國債會社ト云フヤウナモノアレバ、貯蓄銀行條例ニ觸レルコトニナ

○政府委員（森俊六郎君） 國債會社ニ於テ抽籤入札ヲ用ヰテ居リマスモノハ無盡業ニ入ルモノデアラウト思ヒマス、實際ヲ見マセヌケレバ能ク分リマセヌ

○川崎克君 用ヰナイモノデ……

○政府委員（森俊六郎君） 用ヰナイモノデアリマスレバ單純ナル賣買デアルカ、又ハ預金業ヲサウ云フ形ニ於テヤツテ居ルト云フコトニ看做サレルカ、事實問題デアリマシテ、能ク内容ヲ見マセヌケレバ、抽象的ニチヨット決定ガ出來ナイノテアリマス、此貯蓄銀行ト申シマスノハ、現行ノ貯蓄銀行條例ニハ觸レマセヌガ、改正致シマスカラ、サウ云フモノハ一部ハ觸レルカモ知ラスト思ヒマス

○川崎克君 是ハ昨日モチヨット御尋ネ致シマシタノデアリマスガ、無盡ニ付テノ勸誘費竝ニ集金手數料、ソレカラ營業費、サウ云フモノ、一口ニ對シテ大體幾ラ位ヲ要スルノが正當ト看做シテ居ラル、標準デアリマスカ、サウ云フ標準ガアリマスカアリマセヌカ、是ハ重大ナ問題ト思ヒマス、此第二十一條ニ於テ「主務大臣ハ何時ニテモ無盡業者ヲシテ其ノ事業報告ヲ爲サシメ又ハ業務及財產ノ狀況ヲ検査スルコトヲ得」ト云フ規定ガアリマスガ、此規定ニ依テ御遣リニナルコト、思ヒマスが、是ハ帳簿ノ上ノ不正支出トカ何トカ云フヤウナモノヲ御調べニナルダケテナク、營業ノ實質ニ付テ御調ベニナルトスレバ、今私ノ御尋ネ致シマス點ヲ御調ベニナルノデハナイカト思ヒマス、是ハ單ニ無盡タケデ

ナク、貯蓄銀行ノ方ニモ關係アル問題デアリマシテ、餘程重大ナ事柄ト思ヒマスガ、此事ニ付テノ政府側ニ於ケル大體ノ御意見、御取締ノ御方針等が御有リナリマスレバ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(森俊六郎君) 唯今取調べて居リマスノハ、會社ノ經費側カラ取調べテ居リマセヌ、會社ノ利得スベキ收益ト云フ方カラ計算ヲ立て、調査シテ居ルノアリマス、凡ソ此收益ノ限度が極リマスレバ、其範圍内ニ於テ營業者ガ相當ノ經費ヲ使フコト、思ヒマス、掛金總額ト給付金總額トノ間ニドノ位ノ開キヲ見ルベキモノデアルカト云フコトハ、多少運用ノ利鞘等ヲ見テ大體ドノ位ノ程度ノ利益ヲ得ルコトガ相當ニアラウカト云フ方カラ計算ヲ立て、認否ヲ決シタイトイ思フテ居リマス、ソレデ無盡ノ調査ヲ差上ゲテ置キマシタガ、是ハ貸借ニアリマセヌガ、假リニ貸借關係ニ立ツタモノト致シマシテ、如何ナル程度ノ利子ノ貸金ヲ借りタモノデアルカト云フヤウナ計算ヲ假想シテ調査致シテ居ルノアリマス、ソレニ依リマスト一一ノ例ニアリマスガ、百圓會テ口數五十口、給付金五千圓、掛金トシテ取リマス高ハ五千七百五十七圓ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、是ハ所謂大阪式ノ無盡ニアリマスノデ、最初剩餘金ヲ見ルコトニナツテ居リマス、其剩餘金ノ運用ノ利益ヲ日歩一錢ト假定致シマス、是が百二十九圓ニナル、會社側ニ利得スルノハ幾ラアルカト言ヘバ、差引八百八十五圓ト云フモノニナリマス、是ヲ割合ニシマスト約一割七分ニナリマス、一口百圓ノ會テ開キマスト、經費ト募集費或ハ利益等ヲ全部籠メマシテ十七圓七十錢三ナル形ニナツテ居リマス、是が先程申上げマシタ通り一割位ニナツテ居ルモノモアリマス、少ナインハ一割三分ト云フコトニナツテ居リマス、尤モ此計算ハ稍健全デアルト認メラル、モノニ付テ計算シタノニアリマス、入札ハ七割マヂシカ許サナイ、入札ノ差額が出マスレバ、ソレハ會社ハ其中一割シカ貴ハナイト云フコトノ假定ヲシテ計算シタノニアリマス、其方面ノ計算ヲ取りマセヌケレバ認否ヲ決スルコトハムダカシイト思ヒマス、當業者カラ取リマスカ、或ハ何カ相當ナ見積リヲ立て、認否ヲ決スル積リニアリマス

定ヲ設ケサセル積リデアリマス、是ハ餘程理想論ニナリマスガ、實ハ無盡ト云フモノヘ、對程慎重ノ調査ヲシカレバナラヌノデ、會員ヲ募ルトキニ、其人選ニ就テハ餘デモ、背負込ムト云フコトニナシテ居リマス、是ハ根本ニ於ケル間違ト思ヒマス、元々無盡業ナルモノハ一種ノ組合的ノモノデナケレバナラヌノデ、相互ノ知合同志が集ツテ相互通じ、經濟ノ目的ヲ達スルト云フコトガ理想デナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ今日營業化シタル無盡ハ全クソレト正反対デ、會員ヲ募ルコトニ就アハ何等ノ考慮ヲ費サヌ、是ハ非常ナ間違アリマス、此根本ニ就テハ出來ルダケ政府ハ注意ヲ致ス積リデアリマス、會員募集ノ方法ニ就アハ、慎重ニ極ク眞面目ナル經營方法ニアケレバ許サヌ積リデアリマス、ソレカラ唯最初ニ於テソレダケノ注意ヲ拂ッタダケデハイカスト思ヒマスノデ、無盡業者ガ中途居リマス、隨ツテ會員募集等ニ於テモ眞面目ナ注意ヲ拂ハナケレバ經營ガ出來ナイコトニテ居リマス、夫等、占ウ又帝ガナフコト、考ヘテ居リマス

○政府委員(森俊六郎君) 資本ト云フノハ株式會社ノ關係ニ依ツテ資本ト書キマシ

○尾越辰雄君 ソレカラ第六條ノ無盡業ノ營業區域ハ、例ヘバ三万圓ノ株式會社ヲ
持ヘテ、東京府ナラ東京府全體ニ向シテ營業ガ出來マスガ、此間ノ御説明ニ依ルト東
京府内ノ一區域ヲ限シテ營業ヲ許スト云フヤウニ承リマシタガ……

○政府委員（森俊六郎君）是ハ先日モ申シマシタ通り、成ベク小規模ノ無盡ノ起ルノヲ歓迎シマスガ、是ハ法律上ハ道府縣ノ區域内ナラバ出來ルコトニナルノアリマス、其中ニ於テ自分ノ會社ノ資本金額或ハ取引等ノ關係上、營業區域ノ範圍ハソレ適當ナ範圍ガ自ラアラウト思ヒマスノテ、定款ニ定メサセテ認可ヲ與ヘル積リデアリマスカラ、一區位ニナルモノノアリマセウシ、或ハ其町村其郡内位ニ止マルモノモアリマセウガ、ソレハ當業者ノ定款ニ定メサセテ、認否ヲ決スルコトニ致シタイノアリマス

○川崎克君 唯今ノ御説明デモ宜イノデアリマスガ、私ノ計算デハ大分算盤ガ違フ、
デス、政府ノ御見込テハ日歩二錢ノ計算デ御出シニナツテ居リマスガ、ドウモ日歩二錢
ノ割合ヲ行クト、サウ云フ風ニ出テ來ナイ、ソレデ私ハマダソレヨリモ一步進ンデ最モ心
配シテ御問シタイ所ハ、矢縄ニ口數ヲ殖ヤサンガ爲ニ、會社デモ無盡デモ勸誘費ヲ非常
ニ使ヒマス、サウシテ第一回ノ掛金位ハ殆ド勸誘費ニ要ツテ仕舞フト云フコトガ行ハレテ
居ルサウデアル、斯云云フヤウナコトデ中途掛金ヲシナイモノガアル、ソレカラ唯口數ヲ殖
ヤサンガ爲ニノミ競争ヲスルト云フ傾向ガアル、現在ノ狀況ニ於テ最モ甚ダシイノデアリマ
ス、其事ニ付テノ御取締ハ法律規則ノ上位之ヲ明ニシナクトモ、内規ノ上ニ於テサウ云
フヤウナコトヲ御極メニナツラドウデゴザイマセウカ

○政府委員(森俊六郎君) 其ハ大體事業方法書ニ全部書カスル積リデアリマス、非
常ニ不當ナモノハ、事業方法書ニ依テ認可ヲ與ヘナイコトニナルノデアリマス、ソレカラ最
初ニ會員ヲ無暗ニ募シテ置イテ經費ヲ餘計ニ使ヒ、後ニナツテ掛金ノ満會ニナルコトガ出
來ナイモノガ多イデハナイカト云フ御尋ニアリマスガ、其點ハ御同感デ、弊害が多く其點カ
來ルヤウデアリマス、ソレデ事業方法書ナドノ中ニ於テ、會員募集ノ方法等ニ就テモ規

リマスカ、其點ニ就テノ御意見ヲ伺ヒタ

○政府委員(森俊六郎君) 洵ニ御尤ナ御質問デアリマスノデ、元々營業區域ヲ定メルト云フコトハ、多少ノ無理ガアルト云フコトハ是ハ已ムヲ得ヌノデアリマスガ、先日モ申在地ノモノヲ監督スルコトニナリマスケレドモ、營業區域ヲ極メスコトニナルト、地方長官ガシマシタ通り、大體地方的金融機關ニシテ行キタイト云フ根本ノ精神ガアリマスノデ、隨テ監督モ地方廳ニ幾分ヲ委任スルコトニ致シタインデアリマス、サウ致シマスト、本店所跨シテ居ルヤウナトキニ、不便ガアリハセヌカト云フ御質問デアリマスガ、餘裕金ヲ出ナアタモ、大體ハ此一町トカ一村トカ云フモノガ營業區域ヲ極メスコトニナルト、地方長官ガ位ニ經營サレテモ經營上多大ノ不便ガナカラウト思ヒマス、唯今御話ノヤウニ兩府縣ニ地方金融機關トシテノ目的ヲ達スル上ニ於テ、多少ノ不便ハ免レヌコト、思ヒマス、ソレカラ營業區域ニ就テ申上ゲテ居リマスノハ、大體サウ云フ精神カラ此營業區域ヲ設ケタノデアリマスカラ、營業者ノ營業所ヲ設ケルトカ、或ハ代理店ヲ置クトカ、勸誘員ヲ派遣スルトカ云フヤウナ積極的ニ働くト云方ノ區域ヲ營業區域ト限シテ居ツダナラバ、他府縣カラ來テ加入スルト云フヤウナ風ノコトハ、ヤカマシク言ハヌテモ宜カラウト云フ大體精神デアルノデアリマス、積極的ニ營業者ガ働く營業區域ト云フモノ、精神デ取締ラシテ行ギタイト考ヘテ居リマス

○板倉中君 第九條ノ貸付方法ヲ第二號ノ有價證券ヲ擔保トスルコト、或ハ第三號ノ銀行ノ預金ト云フコトニナシテ居リマスガ、ヨク確實ナル擔保即チ土地家屋ハ燒失等ノ虞ガアリマスルケレドモ、今日ノ場合、保險法ト云フモノガ立シテ居リマスシ、追、文明ニ赴クニ從シテ鐵工ノ堅牢ナル建築物モ出來テ參リマス、縱シ木造デモ保險法ト云フモノガアル以上安心ナモノデアル、其土地家屋ノ如キ擔保ヲ許サナイ、又會員ニシテ掛金ヲ爲シテ居ル、或ハ五十圓トカ百圓トカ掛金ヲ爲シテ居ル、是ハ既ニ其會社ヘ金ヲ積ンデアル、是等ノ者ニ貸付ケルト云フコトハ毫モ危険ノナニ、寧口斯様ナコトガ行ハレナイト——非常ニ金ノ必要ノ場合ニ之ニ依シテ助カラントスルトコロノ會員ハ已レノ金ガアリナガラ之ヲ利用スルコトが出來ナイ、期限ガ來ナイトカ抽籤ニ當ラナイト云フ時ニ、之ヲ利用スルコトが出來ナイ、營業者ノ方ニ於テモ區域ヲ有價證券等ニ限ラレテシマヒマスルト、自ラ資本流通ノ途ト云フモノヲ局限セラレ、從シテ營業ニ對スル利益ヲ獲得スルコトガ薄ク相成ルト云フヤウナコトニ相成ル、之ヲ利用スル所謂融通ノ方法カラ申シマシテモ、非常ニ不都合ラ來スト云フコトニナルノデアリマスガ、是等ノコトハ勿論政府モ御考ニナタコトデゴザイマセウガ、敢テ有價證券ノ擔保トカ銀行預金ニ限ラレタト云フ御見込ハ那邊ニ存スルノデアリマスカ、本員等ノ考テハ斯ノ如キ法律ヲ設ケテ取締ラスルト同ス

○政府委員(森俊六郎君) 餘裕金ノ運用ニ就テハ先日モ申上ゲタノデアリマスガ、大體無盡業ヲ取締ル上ニ於テ相當ノ供託ヲサセタラ宜イデハナイカト云フ御説が聞エマ保ニ就テ斯ク局限セラレタル御意見ノアルトコロヲ詳シク伺フテ参考ニ供シタイト思ヒマス

○政府委員(森俊六郎君) 餘裕金ノ運用ニ就テハ先日モ申上ゲタノデアリマスガ、大體無盡業ヲ取締ル上ニ於テ相當ノ供託ヲサセタラ宜イデハナイカト云フ御説が聞エマ保ニ就テ斯ク局限セラレタル御意見ノアルトコロヲ詳シク伺フテ参考ニ供シタイト思ヒマス

スノデゴザイマスノデ、供託ニ關スル研究モ相當ニ致シタノデアリマスガ、御承知ノ通り無盡ニハ種々難多ノ方法ガアリマシテ、餘裕金ヲ餘り見テヤウナ仕組ノ所謂東京式ノ無盡モアリマスルシ、又餘裕金ヲ段々集メテ行クト云フ大阪式ノ無盡モアリマシテ、餘裕金ノナイヤウニ貨付ケテシマフト云フ方法モアリマス、餘裕金ヲ段々集メテ澤山ノ餘裕金ヲ見ルト云フモノニ就テハ、相當ノ供託ヲサセルコトモ意味ヲ爲スノデアリマスガ、餘裕金ノ出ナイモノニ付テハ供託ノ標準ガアリマセヌ、シテ餘裕金ノ運用方法ヲ定メマスニ付テハ、大體貯蓄銀行條例ノ精神ヲ酌ミマシタ、貯蓄銀行ノ例ニ依レバ四分ノ一位ノ供託ヲシナケレバナラズ、ト云フコトニナリマス、ソウシマスルト其擔保モ國債證券或ハ地方債證券等ニ限シテ居リマスガ、此法案ニ供託ノ規定ヲ置キマセヌカラ、從テコノ放資方法ノ制限ニハサウ云フ精神モ幾分加味シテ居ルノテアリマス、又此資金ノ運用ニ就キマシテハ、成ルベク嚴格ニ何時テモ支拂ニ應ジ得ルヤウナ現金ニ代リ得ルヤウナモノテナケレバナラズト云フコトニシタイト云フ考デアリマス、唯今御話ノヤウナ不動產ニ其金ガ固定シテシマフト云フコトハ、或ハ安固デアルカ知レマセヌガ、掛け金者ニ給付ノ必要ガ生ジタトキニ差支ガナイヤウニ、成ベク現金ニ代リ得ルヤウニシテ置キタイト云フノデ旨ガ違ヒマス、第九條ハコノ精神デ、何時モ現金ニ代リ得ル性質ノ物ヲ選ミマシタノテアリマス、ソレカラ掛け金者ニ對シテ、或ル程度ノ融通ヲ認メテモ宜イデハ、ナイカト云フ御話デアリマシタガ、是ハ昨日モ度々御意見モアタノテアリマスガ、或ル程度以上ノ融通ヲ認メルト云フコトハ、無盡ノ大體ノ仕組ラ段スト云フコトニナリハシマイカト思ヒマス、之ヲ原則ト致シマシテ、總テノ人ガ、斯ル目的テ入ルト云フコトニナリマスト、一向抽籤入札ニ依シテ掛け金ヲ受クルト云フコトが行ハズニ、一ノ貸金會社ノヤウナコトニナリマシテ、ソレハ無盡ノ組織ヲ全部毀スト云フコトニナルカラ、成ベク貸金ヲ認メルト云フヤウナ形式ハ避ケテ置キタイト思ヒマス、併シ或ル程度ノ掛け金ヲ限度トスル融通位ノコトナラバ、或ハサウ大ナル弊害ハナカラウカト考ヘテ居リマス

○尾越辰雄君 區域ノ點ニ就テモウ一ツ分ラナイコトガアルノデアリマスガ、東京府ナラヤ區域ノ限局セラレテ居ル爲ニ、無盡會社ニ對シテ甚ダ酷デアラウト思フ、現ニ營業者ト云フモノハ區域ヲ限ラル、ト云フコトハ絶對ニ反對ノヤウデアル、政府ノ案テ考ヘテ見マスルト、東京ナラ東京ニ二十ナラ二十一、二十ナラ二十ト云フ大凡ソ政府ニ御見込が付テ居ルナラバ三十ダケハ御許シナル、其他ニハ許サヌト云フコトニナシマウト、現在ノ無盡會社ノ希望ト政府ノ意ノアル所ト衝突スルヤウデアルト思ヒマスガ、其邊ハ如何ナモノデアリマセウカ

○政府委員(森俊六郎君) 唯今ノ私ノ説明ガ十分テナカッタカ知レマセヌガ、營業區域ニ何郡ハ何ノ某、何郡ハ何ノ某ト云フヤウニ許スト云フ積リデハナインデアリマス、其數營業者、營業者ガ自分ノ望ムトコロノ營業區域ヲ定メマシテ申請ヲ致スコトニナリマス、不當デアリマセヌケレバソレヲ許ス積リデアリマス、即チ或ル區域ニ一人或ハ二人四人競争スルコトハ一向構ハヌコトデアリマス、唯其營業者ガ定款ニ定メマス營業區域ノ圈内ヲ超ヘナイ範圍ヤレハ差支ナインデ、品川町ノ附近タケヤラ積リダト云フ人ニ、東京全體ヲ營業區域ト定メシムル必要ハナイカト思ヒマス、其人ノ營業上便利ナリトスル、又

實行スル直接ノ營業區域タケニ認可スルト云フ考デアリマス

○尾越辰雄君 ドウ云フ譯ニ、其範圍ノ人デナイト加ヘサセルコトガ出來ナイカ

○政府委員(森俊六郎君) ソレハ嚴格ニ云フトサウ云フコトニナルト思ヒマス、營業者

ノ營業致シマス行爲ヲ、營業區域タケデ限ル積リデアリマスガ、其外ヨリ入ル者ガアツタ
トコロデ、ソレハ妨ガナイト思ヒマス、今日農工銀行等ニ於テ、一旦貸付ケタ人ガ他ノ府
縣ニ行ツテモソレハ差支ヘルト云フコトニナシテ居リマセヌ、其解釋ヲ寛大ニ見テ居リマス
ガ、營業者ガ自分ノ本店支店ヲ置クトカ、代理店ヲ置クトカ、或ハ勸誘員ヲ派遣スルコ
トハ營業區域ニ限リタイト思ヒマス

○板倉中君 元來此法律ハ政府ハ非常ニ宜イ積リデアリマセウガ、隨分專制的ナ政府
ダケノ御隨意ノ法律ノヤウデアリマシテ、第二十一條ニ於テ報告ヲナサシメ又検査ヲスル、

二十二條ニ於テ停止命令變更ヲ爲サシメルコトガ出來ル、サウシテ許可ヲシナケレバ、
營業ヲサセナイト云フ第一條ニ規定ガ存シテ居ル取締ト云フモノヲ十分ニ付ケテ居ルノ
デアリマスカラシテ、其營業ハ成ベク人民ノ權利ト云フモノヲ束縛シ強制スルコトノナイヤ
ウニ自由ヲ與ヘテ、サウシテ弊害ノアシタ時分ニ之ヲ取締ルト云フ方法ヲ立て、置ケバソ
レデ差支ナイ、今日マテハ自由放任、寧ロ其自由放任カラシテ弊害ガ百出シテ之ヲ取
締ル法ガナカッタガ、漸ク今日ニ於テ此法案ヲ立テルト云フコトニナシタノアリマス、詰リ
此取締ヲ爲スコトガ出來ルヤ否ヤ、自由ニ便利ニ發達スベキモノヲ矯正シ妨害ヲ加エル
ト云フ精神ハ一切取除クヤウナ方針ガ、私ハ政治上ノ仕事トシテ相當デアラウト考ヘテ
居リマス、今ノ第六條ニ於テノ御説明ノ如キハ――全ク法文ニ於テ道府縣ノ區域内ニ
於テ之ヲ定メルト云ノデ、決シテ他府縣ニ入ルコトガ出來ルトカ、他府縣ニ勸誘ヲ爲
スコトガ出來ルト云フ意味ハ絶對ニ見エテ居ラナイ、果シテ今御説明ノ如クニ行ハレルト
スレバ、即チ反則デアル、反則ニナレバ又制裁モ加ヘルト云フコトニナル、果シテサウデナ
ケレバ寧ロ今ノヤウナ自由ニ出來ルヤウニ妨ガナキ區域ト云フモノヲ各府縣ニ跨シテ出來
ルト云フコトヲ許シテ置クガ宜イト思ヒマス、即チ御説明ノ如シバ第六條ニ但書ヲ加ヘ
テ、其間ニ自由ニナルト云フヤウナ弊害ノ起ラヌ限りニ於テ取締ヲ付ケ、サウシテ自由ニ
ナルト云フコトニナシタノアリ、是ハ政府ハ餘リニ人民ヲ幼稚視シテ、御世話ガ居キ過ギ
ルヤウナコトニナリマセヌカ、法律ハ大體作ッテ、其間ニ於テ取締ル――弊害ノアシタ時ニ
之ヲ制裁スルト云フコトニ止メテ置ケバ宜イト思フ、當業者が資金ヲ調達セントスレバ、
土地家屋ナリ何ナリ確實ナル擔保ヲ持テ居レバ、必シモソレヲ現金ニ直ニ變ハラナイデ
モ他ニ融通ノ途モアル、信用モアッテ其資産が滅失セザル限リハ、資産ハ存在スルモノデ
アツテ、自ラ當業者ノ自由便利ト云フモノハ圖ラレルノデアル、貸スト云フ方デモ、借りル
ト云フ方デモ、擔保ノ範圍が廣クテ確實デアレバ差支ナイト云フヤウナコトノ程度ニシテ
置クガ然ルベキコト、考ヘラレル、會員ノ拂込金額ニ對シテ一時ニ金ヲ貸スト云フガ如キ
コトハ、或ハ甚シキニ至ツテハ全部が借りテ仕舞ヘバ抽籤モ何モ行フコトが出來ナクナルト
云フコトハ、極端アル方ヨリ觀察シタノデアツテ、一方カラ言ヘバ無盡ヲ掛ケテ居ツテ、不

意ノ災危ニ罹ツテ、不作デアルトカ若クハ火災病氣其他災難ノ場合ニ、自己ノ掛金デア

リナガラ借リラレナイト云フヤウナコトヲ法律テ制定セラレテ、不自由ヲ來サナイヤウニシテ
ヤルガ宜イト思ヒマス、即チ今ノ御説明ノ趣旨カラ申シマスレバ、金ニ變ル途ヲ言フナ

ラバ、其場合ニ資金ヲ作レバ宜イ、當業者ハソレラノ事ハ豫メ考ヘテ居ルコトデアツテ、非
常ニ差支アルト云フ場合ニハ當業者自身ガ御世話ガナクテモ左様ナコトマデハ爲シハシ
ナイカト思ヒマス、要スルニ金ニ變ル便利ヲ見込ンデト云フコトデアレバ、金ニ變ヘル途サ
イアレバ、會員ニ掛金ヲ全部貸與ヘルト云フヤウナコトヲヤツテモ、取締ノ方針ニハ變リハ
ナイモノト見込ンデ宜イデアラウト私ハ今ノ御説明ニ依テ見ルノアリマス、政府ノ御考
ハトウデスカ、其位ニヤツテ御差支ナイト云フ見込ハアリマセヌカ、之ヲ念ノ爲メ伺ツテ置
キマス

○政府委員(森俊六郎君) 私ノ説明ガ甚ダ不十分テアシタカ知レマセヌガ、第六條ハ

營業區域ハ積極的ニ勵ク方面カラ考ヘタコトデアツテ、勸誘員ヲ他ノ區域ニ出スト云フコ
トハ認メナイ積リテアリマス、偶々他ノ府縣カラ間違ツテ入ツタ人ガアルトカ云フヤウナコトガ

アリマシモ、ソレヲヤカマシク言ハスト云フダケノコトデアリマシテ、此方カラ勸誘員ヲ出
シテ他府縣ノ人ヲ募集シテ來ルト云フコトハ認メナイ精神デアリマス、ソレカラ九條ノ何

デアリマスガ、ドウモ僅カカリノ資本ノ無盡業者ガ、不動産ヲ買入レテ固定シテ仕舞フ

ト云フヤウナコトハ、甚ダ實際ニ於テ困ルヤウナ場合ガ生ゼヌカト思ヒマス、確實ヲ期シマ
ス上カラ申シマシテモ、現金ニ直ニ換ヘルト云フ上カラ申シマシテモ、成ルベクスウ云フヤ

ウナモノニ限ツテ置キタイト云フ希望デアリマス、又無盡業ヲナラニテ參リマス上ニ於テハ、必

ズ立替金ノヤウナ形ノモノガ起ツテ來ルノデアリマシテ、必ズ掛金者ガ毎回遅滞ナク掛金
スルト云フコトハチヨット豫定ガ出來ナイコトモアルト思ヒマス、無盡業者トシテハ掛金ノ

有無ニ拘ラズ、給付金ヲシテ行カナケレバナラヌ義務ヲ有ツテ居ル、ソレデアルカラ多少大
キイ無盡業デハ、始終一万ヤ、一万五千ノ流動資金ヲ有ツテ居ル必要ガアラウト思ヒマ
ス、デスカラ土地建物ナド買入レテ固定シテ仕舞フト云フコトハ、實際ノ經營上ムツカ
シイカト思ヒマス

○山内範造君 私ハ「賭博又ハ富籤三類似スルモノハ此ノ限ニ在ラス」ト云フコトニ付

テ御尋ねシタ、抽籤ヲ給付ヲ爲スト云フヤウナコトハ幾ラニ對シテ幾ラマデハ給付ガ出
來ルト云フヤウナ程度ニ依ツテ、多少富籤類似ノ傾カ起ルノデスカ、政府ニ於テヘドノ位

ノ程度ヲ以テ御判別ヲ爲サル御考デアリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 唯今ノ御質問ハ抽籤ノ方デアリマスレバ百圓ノ無盡ナラ

百圓給付シナケレバナラヌニトニナルデスカラ、別ニ富籤三類似スルコトハナシ、唯入札ヲ
致シマス場合ニ幾分カ其疑ガアルト思ヒマス、第一條ニ富籤又ハ賭博ト云フコトハ取退

モ他ニ融通ノ途モアル、信用モアッテ其資産が滅失セザル限リハ、資産ハ存在スルモノデ
アツテ、自ラ當業者ノ自由便利ト云フモノハ圖ラレルノデアル、貸スト云フ方デモ、借りル

ト云フ方デモ、擔保ノ範圍が廣クテ確實デアレバ差支ナイト云フヤウナコトデ射利心ニ驅ラレテ加入スル人ガアリマス、サウシ

テ十五箇年カ二十箇年デ投出スト云フヤウナコトガ澤山アリマス

○政府委員(森俊六郎君) 是モマダ確定シタコトデハアリマセヌガ、凡ソ何年位マデ外

○川崎克君 サウ致シマスト、ソレハ近イ内ニ又何トカ御考ヘニナルト云フ風ニ承知ヲシテ宜シノアリマスカ

○政府委員(森俊六郎君) 唯今ノ御質問ノアリマシタ國債賣業者ニ關シマスルコトハ、單純ナル賣買ノ形式ニ依リマシタラバ、唯今大藏次官カラ説明セラレマシタ通り銀行條例ヲ取締スルコトハ不穩當アルト考ヘマス、併シ一定ノ有價證券ヲ給付スルト云フコトヲ、表面ニ約束ヲ致シテ居リマシテ、實際ハ時價ノ高低ニ依リテ差額ヲ現金ニ換ヘル、差額ハ現金ヲ以テ給付スルモノナラバ、事實上現金ノ給付ト看做スコトが出来ヤウト思ヒマスガ、是ハ解釋ニ譲ラヌケレバナラヌト思ヒマスガ、其等ノコトハ銀行條例ヲ取締ルコトガ出來ルカト思ヒマスガ、唯今、單純ナル賣買アルトカ、或ハ信託類似ノ取引ノ様ナモノニ至ラヘ、他ノ一般私法トモ密接ノ關係ヲ有シテ居リマスカラ、急ニ之ヲ定メルコトガ出來ルカドウカト云フコトハ、研究ノ結果ニアリマセヌケレバ、明言ラヌルコトガ出來マセヌ、研究ヲ致シタイト云フ希望ハ有ラテ居リマス

○川崎克君 其問題ハ餘程重大ナル問題ト思ヒマスルケレドモ、私ノ觀ルトコロハ今此貯蓄銀行條例ヲ御改正ニナシテ、一面ニ於テ國債株式會社ト云フヤウナモノニ對スルヲ作ルト云フコトニナシテ、折角此銀行條例ヲ御設ケニナリマシタ御趣意ニ反シヤハシナイカト云フコトヲ憂慮スル、恰モ前門ノ虎ヲ逐フテ後門ノ狼ヲ迎フルヤウナ論法ニ陷ラシナル方ニ逃ゲテ行ク、此傾向ハ必ズ起ル問題ト思フ、一面ニ網ヲ設ケテ他面ニ逃れ場所ヲ作ルト云フコトニナシテ、御取締ノ御作リニナルト云フ御考ハ現在ニ於テハオアリニナラヌト云フヤウナコトデハ、貯蓄銀行ヲ今ヤッテ居ルモノガ國債株式會社ニ變シテ嚴格ナル網ヲ遁レテ極ク寛大ノ御取締ノ御作リニナルト云フ御考ハ現在ニ於テハオアリニナラヌト云フヤウナコトデハ、貯蓄銀行ヲ今ヤッテ居ルモノニ對シテ相當ノ法規ヲ設ケルコトハ、今日ニ於テハ時期尙早ニアルト思フノアリマス、此點ハ今御考が付カナケレバ、何トカ是ハ早ク之レニ對シテ相當ノ御考ヘガナケレバ、是ガ爲ニ非常ナ弊害が起りハセヌカト云フコトヲ憂フルノアリマス、ソレカラモウ一ツハ無盡ノトキニモ私ハ御質問ヲ致シタコトデアリマスガ、此貯蓄銀行條例ヲ改正スルコトハ最モ必要ナルコト、思ヒマスガ、御取締ニナル上ニ於テ大體此營業費ノ上ニ最モ御注意ヲ御拂ヒラ願ハナケレバナラヌト云フコトハ、此貯蓄銀行ノ利息ガ大體ノ計算ニ於テ五朱位ノ割ニナシテ居ル、營業費ノ全體ヲ先づ私共ノ考ヘルニ、勸誘費集金費營業其他ノ事務員給、總テノ費用ヲ入レマシテ、ソレヲ契約金額ニ對シテ其割合ハドウ云フ風ナ率ニ上ル程度ニ制限スレバ宜イカト云フト、ドウシテモ八朱五厘カラ九朱ノ程度ノ利廻リノ計算テ治マラナイト云フト、殆ド此勸誘費集金費ニ喰シテシマウノアリマス、現在ハ全ク其弊ニ陥シテ居ル、現在ノ貯蓄銀行ノ勸誘費集金費ノ例ヲ見マスルト、一回ノ掛金ダケデナク、一回甚ダシノニナルト三回モ四回モ殆ド其掛金ノ全部ヲ喰シテ居ルト云フヤウナ有様デアル、是ハ別ニソレダケ營業費ヲ出シタカラト云フコト不法支出ト云フコトハ、形式上帳簿ノ上ニハ現ハレヌノアリマスガ、實際ハ會社ノモノヲ喰シテシマウテ、其結果ハ會社ガ倒レテシマウト云フヤウナ狀態ニナシテ居ルノアリマス、其點ヲ非常ニ憂ヒテ居リマス、ソレカラモウ一ツ此代理店ノヤウナモノヲ設置スル場合ニハ本秦ニハ認可ヲ得ナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、無暗ニ代理店ヲ設置スルトハ出來ナクナシテ、非常ニ仕合セデアリマスケレドモ、此點ニ付テ營業ノ内容ニ立入シテ、ドレ位ノ程度マテ御取締ニナル御方針デアリマスカ、大體御見込ニナシテ居ル標準ハアルマイカ、私共ノ標準トスルコトハ今申上ゲタ利息ハ五朱トシマシテ、アトニ朱五厘ニ喰業

費ノ全部ヲ賄フヤウニシテ、全體ヲ合セテ九朱位ノ範圍内テ銀行ノ經營ハ立テナイト行カナイト思フ、之ニ對スル政府ノ御意見ガ御アリニナレバ承リタイト思ヒマス

○政府委員(濱口雄幸君) 前段ノ御話ニ對シマシテハ私ヨリ申上ゲマス、後段ノ御質問ニ對シテハ森政府委員カラ御答スルコトニ致シマス、貯金ノ方アリマスガ、其方ノ銀行條例ニ對スル問題アリマスガ、信託業ニ關シテハ如何ニシテ之ヲ取締ルコトニ付テハ從來疑ノアルトコロテアリマス、又其業體ニ付テモ非常ニ種々雜多アリマシテ、今回提案ニナリマシタ無盡業法案ト云フモノモ、据置預金積立金ト云フモノモ、信託會社ノ名ヲ以テ經營スルコトガ澤山アリマス、ソレテ是等ノ事柄ニ付テ具體的ノ研究ヲシマシテ、ソレニ對シテ相當ノ法規ヲ設ケルコトハ、今日ニ於テハ時期尙早ニ屬スルト考ヘテ居ルノアリマス、先づ此無盡業法貯蓄銀行條例ノ改正ニ依リテ据置貯金積立金ヲ取締ルト云フコトニナシテ、此ニシテ法案ノ實行サレタ結果ニ依リマシテ信託業務ノ大體ヲ察スルト云フコトニナリマス、其施行ノ實績ニ觀テ、然ル後ニ全般ニ對スル考究ヲ致シタイト云フ考ヲ有テ居リマス、是ダケラ申上ゲテ置キマス

○政府委員(森俊六郎君) 唯今ノ後段ニ關係致シマス御質問ハ、洵ニ御尤ナ御質問デアリマスカラ、政府ニ於テモ非常ニ此點ハ心配ヲ致シテ居ルノアリマス、今日ノ据置預金ト云フモノト積立金ヲヤダテ居ルモノ、大體ノ經費ノ工合ヲ見マスレバ、唯今モ御子ヲ拂テ經營シテ居ルモノガ少ナカラヌヤウデアリマス、是テハ一方ニ高利貸ノヤウナコト述べノ通り、普通ノ利子ニ比較シテ多額ノ經費ヲ要シテ居リマス、是モ正確ナ具體的ノモノテアルト云フコトハ申上ゲ兼ネマスガ、大體一割以上一割二三分位ノ經費及利息アリマス、ソレカラモウ一ツハ無盡ノトキニモ私ハ御質問ヲ致シタコトデアリマスガ、此貯蓄銀行ヲシナケレバ經營ガ成立シタムト云フコトニ自然成リ行ク譯テアリマス、併ナガラ之ヲ取締ル上ニ於テ何分ナラ宜イカト云フコトヲ此處テ具體的ニ申上ゲルト云フコトハ出來ヌコトニシテ居ルト云フヤウナ有様デアル、是ハ別ニソレダケ營業費ヲ出シタカラト云フコト不法子ヲ拂テ經營シテ居ルモノガ少ナカラヌヤウデアリマス、是テハ一方ニ高利貸ノヤウナコト述べノ通り、普通ノ利子ニ比較シテ多額ノ經費ヲ要シテ居リマス、是モ正確ナ具體的ノモノテアルト云フコトハ申上ゲ兼ネマスガ、大體一割以上一割二三分位ノ經費及利息アリマス、ソレカラモウ一ツハ無盡ノトキニモ私ハ御質問ヲ致シタコトデアリマスガ、此貯蓄銀行ヲシナケレバ經營ガ成立シタムト云フコトニ自然成リ行ク譯テアリマス、併ナガラ之ヲ取締ルト云フコトニナルノアリマスカラ、或ル程度マテハ如何ナル方法ヲ以テ預金ヲ吸收スルカルト云フ其方法ニ付テモ、幾分ガ監督ガ出來ルコト、考ヘルノアリマス、ソレディイカヌ場合ニハ検査ヲ致シマシタ結果ニ依リマシテ、第七條ノ一ノ規定ニ依リテ債權者ノ利益ヲ保護スル爲メニ必要ナル命令ヲ出スコトが出來ルトアリマスカラ、第七條ノ二ニ「預金者又ハ給付金ノ債權者ノ利益ヲ保護スル爲メ必要ト認ムルトキハ其事業ノ停止ヲ命シ其他必要ナル命令ヲ得スコトヲ得」トアル、此命令權ニ依リテ幾分ノ監督モ出來ヤウト思フ、ソレデアルカラ費用ノコトニ付テモ其時代其場所ニ依リテ適當ノ制限ヲ設ケテ行クコトガ出來ヤウカト考ヘマス

○戸叶薰雄君 七條ノ字句ノ解釋デスカ、大藏大臣ノ認可ヲ得テ代理店ヲ設置スルコトヲ得ルト云フ、此代理店ノ中ニハ取扱店出張所ト云フ看板ヲ掲ゲテ各地ニ設ケテ居ルモノガアリマスガ、代理店ノ字句ノ中ニソレ等ノモノヲ包含スルノアリカ、出張所若クハ取扱店ト云フヤウナ看板ヲ掲ゲテ各地方ニ置キマスモノモ、ヤハリ代理店ノ中ニ

差引會社利益

八八五圓

此ノ利益ハ給付金總額ニ對シテハ約一割七分、一口ニツキテハ十七圓七十錢ニ當ル
乙會社 參百圓會 口數六十

此ノ給付金總額 一八、九〇〇圓
掛金、手數料、入札差金收入 一二、一一四圓
剩餘金運用利益 三〇〇圓

差引會社利益 二、五一四圓
此ノ利益ハ給付金ニ對シテハ約一割三分、一口ニ付テハ四十一圓九十九錢ニ當ル

丙會社 百圓會 口數七十二
此ノ給付金及掛金者へ割戻金 七、八七九圓
掛金 九、〇九五圓
剩餘金運用利益 一、九五圓

差引會社利益 一、四一一圓
此ノ利益ハ給付高三對シテハ約一割、一口ニ付テハ十九圓六十錢ニ當ル

丁會社 百圓會 口數五十
給付金及割戻金 五、一〇六圓
掛金 五、九五六圓
剩餘金運用收益 一三八圓

差引會社利益 八七一圓
此ノ利益ハ給付金ニ對シテハ約一割七分、一口ニ付テハ十七圓四十錢ニ當ル

大正四年六月八日印刷

大正四年六月九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局